

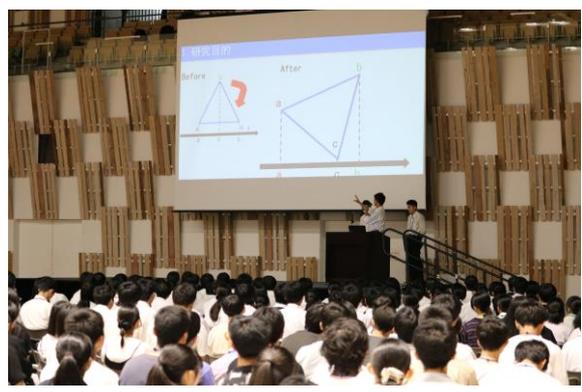
令和6年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

| | |
|-----|---|
| 名 称 | 第12回 新潟県 SSH 生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA |
| 期 日 | 令和6年7月29日（月） |
| 会 場 | アオーレ長岡 |
| 対 象 | 県内外のSSH校、中学校生徒 |
| 参加者 | <p>【参加生徒】新潟南高校、新発田高校、長岡高校、柏崎高校、高田高校（県内SSH事業実施5校）、富山県立富山中部高校（SSH事業実施校）、新潟大学附属長岡中学校、長岡市立東中学校、魚沼市立湯ノ谷中学校。以上、9校802名。</p> <p>【来賓】本校SSH運営指導委員6名、県教育委員会より2名、県立教育センターより1名ご臨席いただきました。</p> <p>【その他参観者】参加校教員32名、一般・保護者による参観14名</p> |
| 目 的 | 県内外のSSH指定校や高等学校、さらに、近隣の中学校の生徒が一堂に会して、課題研究の発表や質疑応答による「研究発表交流」、及び参加生徒が協力して実技課題に取り組む「生徒交流会」を行い、SSH校の課題研究の改善につなげるとともに、参加各校生徒の相互交流により、協働的な課題解決力を育成する。また、会場の設営や進行を長岡高校の生徒が行うことにより、本校生徒の主体性および協働性を育成する。 |
| 内 容 | <p>■研究発表交流</p> <p>「口頭発表」・・・6校6件 新潟南高校（英語）、新発田高校（日本語）、柏崎高校（英語）、高田高校（日本語）、長岡高校（英語）、富山中部高校（日本語）の各代表グループによるステージ発表を行う。</p> <p>「ポスターセッション」・・・6校119枚 参加した各校の研究グループが、ポスターで課題研究の成果を発表する。今年度は高田高校理数科、長岡高校理数科のメディカルコースの生徒や長岡高校海外自然科学研修班もポスター発表を行った。ポスター発表校とポスター数は新潟南高校11枚、新発田高校25枚、柏崎高校9枚、高田高校31枚、長岡高校42枚、富山中部高校1枚。このうち英語発表ポスターは10枚。</p> <p>■生徒交流会 参加生徒全員を他校生徒と混合した5～6人のグループに分け、当日提示する実技課題に取り組ませる。与えられた条件下で、初めて出会うメンバーとの話合い・意見交換・試行錯誤などの協働作業により、よりよい解を探るといった協働的な課題解決を経験させる。また、課題解決力やコミュニケーション能力の伸長も図る。</p> <p>今年度のテーマは「バランスが大事！ストロータワーコンテスト」として、ストローとテープのみで「高さ180cm以上、テニスボールを1個乗せても自立する」という条件を満たすタワーを作成して、その軽さを競った。</p> |

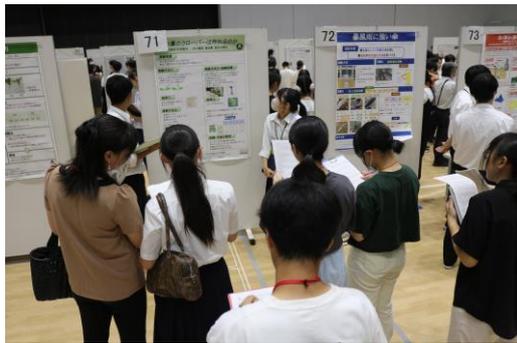




口頭発表 1



口頭発表 2



ポスターセッション



生徒交流会

参加者の
主な
感想

<口頭発表について>

- どの発表もレベルが高く理解するのが難しいテーマもあったが、課題研究のおもしろさを感じられて楽しかった。
- 英語での発表や質疑応答が、とてもよい刺激になりました。

<ポスターセッションについて>

- 他の高校のポスターや説明がとても凝っていて今まで私達になかった視点を与えてくれました。
- 様々なジャンルの内容を選んで聞いたことで、自己選択による主体性も発揮できたと思います。色々な研究があり、とても興味深かったです。

<生徒交流会について>

- 他校の方々と関わる機会がとても少ないので、とても貴重な時間でした。様々な人がいて、いろいろな意見をうまく活用していくことはとても大切だなと感じました。

<全体を通して>

(参加教員・一般参観者・保護者の感想より)

- 参加させていただき、ありがとうございました。生徒は、他県の SSH 校の生徒の発表を聞いたり交流したりでき、とても刺激を受けたようです。大変楽しかったと話していました。